

2025年10月29日
SCSK株式会社

SCSK、商工中金とビジネスマッチング契約を締結 ～CO₂ 排出量算定「CO×CO カルテ」で全国の中小企業 GX を支援～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、全国に広がるネットワークを持つ中小企業専門の金融機関である株式会社商工組合中央金庫(本社:東京都中央区、代表取締役社長:関根 正裕、以下 商工中金)と、ビジネスマッチング業務委託契約を締結しました。SCSKの CO₂ 排出量算定サービス「CO×CO カルテ(ココカルテ)」と商工中金の金融支援などを連携させ、全国の中堅・中小企業が抱える脱炭素化の課題解決と、GX(グリーントランスフォーメーション)の実現を加速させます。

協業の背景および提携内容

パリ協定以降、世界的に脱炭素取り組みが進む中、多くの国内中小企業では、排出量の現状把握が十分に進まないばかりか、具体的な削減目標設定や施策検討にも大きな課題を抱えています。

こうした状況を受け、SCSKは会計データから容易にCO₂排出量を算定できるサービス「CO×COカルテ」を開発・提供しています。

一方、商工中金は、中小企業の脱炭素経営の実現に向けて、これまで GX ファイナンスの推進や、脱炭素経営の伴走支援、GX 関連のビジネスマッチングなど、一気通貫の支援を実施してきました。

本提携を通じて、SCSKと商工中金は「CO×CO カルテ」を活用し、中小企業の脱炭素化に向けた“第一歩のハードル”を下げる取り組みをさらに推進します。商工中金の全国支店での展開を通じ、排出量の可視化に加えて、金融支援や GX ファイナンスを含めた実効性のある支援を実現します。両社は、算定データを起点に中小企業の脱炭素経営を包括的に支援し、サプライチェーン全体の GX 推進を加速させていきます。

【提携イメージ】

- ・ 商工中金による「CO×CO カルテ」の紹介・導入支援
- ・ SCSKによる排出量可視化サービスおよび活用支援
- ・ 可視化データを活用した脱炭素経営・GX ファイナンスの促進
- ・ 将来的なデータ連携・分析によるサービス高度化

株式会社商工組合中央金庫について

株式会社商工組合中央金庫は、1936 年に政府と中小企業組合の共同出資により設立された、中小企業専門の金融機関です。全国の中小企業の金融の円滑化を目的に、中小企業の価値向上に貢献しています。企業の経営課題に寄り添った金融サービスに加え、GX 支援や脱炭素経営への対応など、持続可能な社会の実現に向けた取り組みにも力を入れています。

<https://www.shokochukin.co.jp/>

CO×COカルテ について

CO×COカルテは、企業が保有する会計データをクラウドサービスへアップロードするだけで、独自開発したアルゴリズムがCO₂排出量を算定するサービスです。専門知識やツール操作が不要なため、属人化を防ぐとともに、CO₂排出量算定にかかる業務負担を軽減します。また、排出量と連動する経費を可視化することで経営改善を支援します。排出量可視化を起点として中堅・中小企業の脱炭素活動を支援し、脱炭素対応を“負担”から“成長機会”へと転換することを目指しています。

<https://www.scsk.jp/sp/cocokarte>

【特徴】

- (1)算定対象範囲:Scope1、Scope2、Scope3(カテゴリ 1～8。サプライチェーン排出量上流も把握可能)
- (2)金額ベースの算定だけでなく、物量ベース(実エネルギー使用量等)の入力機能あり。
- (3)排出原単位や算定方法は環境省ガイドライン※に準拠。
- (4)CO₂排出量およびこれに連動する経費も可視化。(脱炭素化とコスト削減の両立も支援)

※ サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

ビジネスデザイングループ

GX センター CN 事業推進部 小竹・功刀・齋藤

E-mail:env-support@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。